

2025年1月20日

これまでに僧帽弁形成術の治療を受けた患者さんへ
【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

札幌医科大学医学部附属病院 心臓血管外科では「僧帽弁閉鎖不全症に対する形成術式の検討」という臨床研究を行っております。この研究は、僧帽弁形成術後の逆流や再手術状況を調べることを主な目的としています。そのため、過去に僧帽弁形成術の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は大分市医師会立アルメイダ病院臨床研究審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

病院長承認日 ～ 2027年3月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに僧帽弁形成術の治療を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真、エコー検査などの過去に収集したデータです。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大分市医師会立アルメイダ病院に帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

○この調査研究についてご質問のある患者さん、データの使用を希望されない患者さんは、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

札幌医科大学附属病院 心臓血管外科

研究責任者：中島 智博

TEL：011-611-2111（内線 33120）

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

